



進化する相知中！

令和7年11月号 文責 校長 小松孝之

学校教育目標

“しなやかに・自分らしく・あなたらしく”

しなやかに … 柔軟に対応するチカラ「環境への適応、ダメージからの回復」

自分らしく … 自分の強みをしっかり発揮して

あなたらしく… 相手を敬うことを忘れない

文化発表会（感動をありがとう！！）

笑顔満祭 [One voice , One heart] ～思い出に残る青春の1ページを～
スローガン通りの笑顔にあふれた思い出に残る文化発表会となりました。

【吹奏楽部の演奏】会場内の人や展示物すべてに元気を吹き込んでくれるような軽快な演奏で、文化発表会に花を添えていただきました。雰囲気づくりをしていただいてありがとうございました。

【1年生】様々な体験活動の足跡が掲示されました。その活動を通して、Well-beingを目指すために私たちにできることを気づかせてくれた素晴らしい発表でした。ウェルビーイングって一人ひとり異なり、今日と明日でも違うものです。だからこその自分にとってのウェルビーイングはどういうものかを考えていくことの大切さを感じました。2年生につながる素晴らしい発表でした。

【2年生】職場体験で学んだ報告書が掲示されました。働くことの意義を少しでも体験できたことは素晴らしいことだと思います。そして、職場体験で学んだことを学校生活に生かそうとする素晴らしい発表でした。これからも大人の世界に少しずつ確実な歩みを進めてもらいたいと望んでいます。

【3年生】修学旅行の思い出が掲示されていました。台風の影響で苦勞したこともありましたが、苦勞した分思い出のこもった掲示物でした。

劇の「戦争を知らない子どもたち」では、ストーリーの設定が面白く、かつ、戦争について考えさせられた劇となっていました。戦争を体験したことのない私たちにとって、こうやって戦争や平和を取り上げることが、戦争を風化させないことにつながるのだと改めて認識しました。素晴らしい劇をありがとうございました。

学びの多い“合唱” 3年生おめでとうございます！！

合唱は違う音を重ねることで素敵なハーモニーになります。一人一人の声の高さ、質、大きさが皆違うのに、全員が一つの曲を完成させようと心を合わせ、声を重ね合わせることで聴く人の心を動かす素敵な音楽になるのです。お互いの音の違いを認め合いながら、一つの曲を完成させる。それが聴く人にとって心地良いのかもしれませんが。性格も体格も考え方も違う生徒が、お互いに認め合い、高め合い、支え合うことでよりよい自分に成長すること。そしてよりよいクラスや学年に成長することを、文化発表会で学びました。

~~~~おめでとう~~~~

最優秀指揮者賞	3年生：宮崎蓮王介さん
最優秀伴奏者賞	2年生：世戸唯愛さん

※相知中学校の生徒のみなさん、短い準備期間によくこれだけのものを仕上げました。よくがんばりました。でも、忘れてはならないのが、この行事を陰で支えてくれた文芸委員・図書委員のみなさんのがんばりです。感謝します。ありがとうございました。

またひとつ、文化発表会という学校行事が幕を閉じました。学校行事の「真の成功」は、その行事を通して学んだことがその後のみなさんの成長につながっているかどうかです。多くの困難を乗り越えた学校行事での学びを学校生活につなげていってください。文化発表会、ご苦勞様でした。

人権週間について

昭和23年（1948年）12月10日、国際連合第3回総会において、全ての人民と全ての国とが達成すべき共通の基準として、「世界人権宣言」が採択されました。世界人権宣言は、基本的人権尊重の原則を定めたものであり、人権保障の目標や基準を初めて国際的にうたった画期的なものです。採択日である12月10日は、「人権デー（Human Rights Day）」と定められています。

日本でも人権デーを最終日とする1週間（12月4日から12月10日）を「人権週間」と定め、昭和24年（1949年）から毎年、各関係機関及び団体とも協力して、全国的に人権啓発活動を特に強化して行っています。

相知中学校においては、人権週間だけにかぎらず、人権・同和教育の取組みをすすめています。この取組は平等・尊厳を尊重し、差別や偏見をなくすために大変重要なものです。来月号で本校のいくつかの取組をお知らせします。